

## 式 辞

若草が萌え立つ中、さわやかな海風を伴って、眩しいくらいに光り輝く新入生の皆さんをここ久米島高校で迎えることになり、大変嬉しく思います。

今日のよき日に、PTA会長をはじめとすご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和3年度第75回沖縄県立久米島高等学校の入学式を挙行できますことを衷心より感謝申し上げます。

ただいま入学許可をいたしました園芸科24名、普通科51名、計75名の皆さん、入学おめでとう。教職員、在校生ともども心から皆さんを歓迎いたします。

本校は「誠実勤勉・自律協和・忍耐持久・剛健進取」の校訓の下、「向上無限」をモットーに、社会の変化に対応し、主体的に学び続け、自己実現を図る生徒の育成に日々取り組んでいるところです。また、本校の特色である中高一貫の連携事業や久米島高校魅力化事業は、教育関係者のみならず地域の多くの方々のご支援とご協力を頂き、充実した取組となっております。

さて、我が国が目指す未来社会の姿としてSociety 5.0というものがあります。人類の歴史において、狩猟社会のSociety 1.0をスタートとし、その後の「農耕社会」、「工業社会」、「情報社会」に続く5番目の社会として、「仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」ということです。ここで大切なのが「人間中心の社会」ということです。高度に情報技術が進歩した時代だからこそ、機械にできることは機械にまかせ、人間はより人間らしい力を身につけることが求められております。2030年には現在の労働人口の49%、約半分がAIで代替されるという予測もあります。こういう時代だからこそ、人間としての強みを生かし、予測不能と言われるこれからの未来を逞しく生き、新たな価値を創造する人となってほしいと願っております。また、新型コロナウイルス感染拡大を受け、「新しい生活様式」の実践も求められており、これまで以上に制約を受けた学校生活となると思います。しかし、こうした環境だからこそ、機械ではなく人間にしか持ち得ない他者への「思いやり」や「気遣い」「真心」を持って、新たな一歩を踏み出してください。人間の心を揺り動かし、そして前進する勇氣と原動力を与えるのも、やはり機械ではなく人間なのです。だからこそ皆さんには、この人間としての力を持って、これまでの先輩方からの「遺産（レガシー）」を受け継ぎ、それに新たな価値や見方を付け加え発展させ、またそれを後輩へと引き継いでいく、このような気概でこれからの学校生活を送ってください。私はこれを「久米島高校ニューレガシー」と名付け、その合い言葉の下、本校職員一丸となって皆さんの教育に邁進して参ります。そして、皆さん一人ひとりに光を当て、「誰一人取り残さない教育」を心掛けて参ります。

保護者やご家族の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。皆様から信頼される学校運営を進めて参りますので、今後とも本校の教育方針・教育活動にご理解とご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆さん一人ひとり、久米島の宝です。沖縄県の宝です。日本の宝です。その宝である皆さんが、ここ久米島高校で更に眩しく光り輝き、久米島から世界へと大きく飛躍することを祈念して式辞といたします。

令和3年4月7日  
沖縄県立久米島高等学校  
校長 仲吉 健一